

夜間・休日の救急外来 受診目安（泌尿器科）

夜間・休日の泌尿器科 救急外来 受診の目安

患者さんが適切なタイミングで医療機関を受診できるよう手助けします。

夜間・休日の救急外来で対応できることには限りがあるため、症状に応じて判断しましょう。

まずは様子を見て、日中の受診を検討しましょう



痛みのない血尿

水分を多く摂りましょう。
高熱や強い痛みがある場合は
救急受診を検討してください。



頻尿の症状

体を冷やす安静に。尿が全く
出ない場合は救急受診が必要です。



尿道カテーテルからの尿漏れ

カテーテル内に尿が流れていれば
緊急性は低いです。



痛みが軽度の睾丸の腫れ

安静にして様子を見て、症状が続く
場合は日中に受診してください。

すぐに救急外来へ！ためらわずにご連絡ください



尿が全く出ない

下腹部が張っている場合、
緊急の処置（導尿）が必要です。



精巣（睾丸）の急な激しい痛み

特に10～20代は緊急手術が必要な
「精巣捻転」の可能性があります。



38.5°C以上の高熱と、
わき腹や背中の強い痛み

重度の感染症（急性腎盂腎炎など）が疑われます。

© NotebookLM

当院は、札幌市救急輪番制で月に4回ほど、夜間・休日の救急対応を行っております。

診療時間外はスタッフの配置が通常と異なります。そのため、通常診療時間とは異なり、検査できる範囲に限りがあること、および、簡易的な処置・治療が主となることをご理解ください。

【泌尿器科の救急当番病院の確認方法】

救急安心センターさっぽろ 011-272-7119 に連絡し、泌尿器科の当番病院を探してください。

※ 救急当番日以外では、救急患者さんを受け入れができない場合があります。

【当院が救急当番の場合】

坂泌尿器科病院にご連絡 011-688-7400

診察番号、お名前、生年月日、症状、来院予定時間をお聞きします。

【時間外受診でできること】

時間外受診では、以下の検査と治療が中心となります。

検査

尿検査、エコー検査

血液検査（結果は翌日以降となります）

処置・治療

痛みが強い時の薬の処方や注射

おしっこが出ない場合のカテーテル（導尿）の挿入などの治療

緊急手術

泌尿器科で緊急手術が必要な精巣捻転や、上部尿路閉塞に対する尿管ステント留置・経皮的腎瘻造設術・止血困難な下部尿路出血に対する経尿道的止血術が必要な際は、待機のスタッフを呼び出し、緊急手術を行います。

【ご自宅で様子見て、日中の外来診察をお勧めする場合】

緊急性が低いと考えられる場合、まずはご自宅で安静にして様子を見て、翌診療日の通常外来にご来院ください。

痛みのない血尿がある場合

症状の目安: 発熱がなく、排尿後の痛み・残尿感・頻尿がある場合は膀胱炎による肉眼的血尿である場合が多く、自覚症状が強くなれば経過をみることも可能です。

ご自宅での対処法: 水分を多くとり、尿を多く出すことで対処します。

注意点: 血尿があり痛みが強い、または高熱が出た場合は、救急外来をご検討ください。

尿道カテーテルからの漏れがある場合

症状の目安: 尿道カテーテルが抜けていないのに、横から尿が漏れてしまうケースなどです。

ご自宅での対処法: 尿がカテーテル内に流れていれば、緊急性は低いと判断されますので、診療時間にお越しください。

注意点: 尿が流れず、膀胱に尿が溜まってしまいお腹が膨れてきている状況では、カテーテル交換などの処置が必要なので時間外受診してください。

頻尿の症状がある場合

症状の目安: トイレに行く回数が増えたなど、排尿の回数に関する症状。

ご自宅での対処法: 身体を冷やさないようにし、安静にしてください。症状が続く場合は通常外来を受診してください。

注意点: 下腹部が膨れ、排尿困難がある場合は緊急の処置が必要となる場合があり、時間外受診をしてください。

睾丸の腫れがある場合（痛みが軽度の場合）

症状の目安: 睾丸に腫れを感じるが、痛みがごく軽度である、または全くない場合。

ご自宅での対処法: 安静にして様子を見てください。

【すぐに救急外来の受診が必要な場合】

以下の症状に当てはまる場合は、すぐに当院の救急外来へお電話の上、お越しください。

尿が全く出ない

目安：下腹部が通常よりも膨れしており、尿が出ていない症状。導尿（カテーテル挿入）が必要となる緊急性の高い状態です。

精巣（睾丸）に 急に強い痛み がある場合

特に 10 代～20 代：精巣捻転（ねんてん）の可能性があり、緊急手術が必要な病気です。発症から時間が経つと精巣が壊死する危険があります。

高熱（38.5°C以上）とわき腹や背中の強い痛みがある

急性腎孟腎炎・結石性腎孟腎炎など、重度の感染症が疑われ、緊急処置が必要となる場合があります。

ご自宅で様子見の症状 以外

先の「ご自宅で様子見の症状」以外の場合は、一度ご相談ください。

【再度のお願い】

時間外受診は、簡易的な検査や治療となるため、精密な検査や診断を行うためには、改めて診療時間内に来ていただく必要があります。ご理解とご協力をお願いいたします。